

News Letter



活水女子大学 (Vol.2.2021.09)

KWASSUI WOMEN'S UNIVERSITY

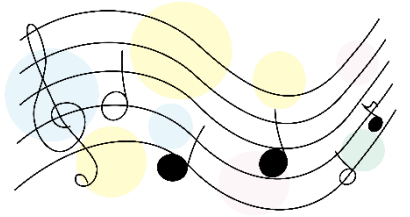
発行：音楽学部音楽学科

〒850-8515 長崎市東山手町 1-50

TEL:095-822-4107 mail:music@kwassui.ac.jp

音楽で働くってどうしたらいいの？ ～卒業後の進路について～

「音楽学部に入ったらみんなプロになるの？それとも音楽の先生？」「音楽学部に入ったのはいいもののどうやって音楽で生きていけばいいの——!!」と分からないことだらけ…。就職活動をはじめとして将来の自分が不安だという方も多いのでは？というわけで！今回は本学音楽学部を卒業された先輩方に「**音楽の仕事について**」をテーマにインタビューしてきました！



編集：境目恵理(音楽文化コース2年)

下条絵理子さん

「悩むことも大事だが動くことも大事」

—音楽活動を仕事としてやっていきたいと思い始めたのはいつ頃でしたか？

高校生の頃かな。3歳からピアノを習い始めてポップスや即興演奏が好きで楽しい習いごとの一つだったけど、高校で音楽コースに入って音楽を深く学ぶことを機に音楽との向き合い方が少しずつ変わってきましたね。高校での音楽の友との出会いはやはり大きかったと思います。

—音楽活動を仕事にする上で活水大を選んだのはどうしてですか？

高校生活を送るうちに、だんだん地元で活躍されているピアニストに憧れはじめて…。地元の大学に進学すれば学生のうちから多くの人と関わるチャンスが増えると思いました。それだけではなくオープンキャンパスなどに参加したときに学校の雰囲気がいっぱいと感じたのも、決め手の



演奏学科ピアノコース

2008年卒業

一つでした。

—卒業後はどのような活動をされてきましたか？

ずっとフリーランスとして活動していて今は個人レッスン・幼稚園・活水大等で教えたり演奏会への参加もしています。1年目は演奏の機会も少なく不安もありましたが活水大の伴奏ピアニストをさせてもらい、3年目からは幼稚園で非常勤の音楽の先生をしました。当時は個人レッスンもしていて、正直やるか迷いましたが「迷ったらやる！」ということでした。今ではその時に学んだ子どもとの関わり方教え方が役に立っています。個人レッスンではただピアノを教えるだけではなく、学校の先生でも親でもないからこそ相談相手になったり、個々の希望に合わせて時間を使うようにしています。

—お子さんもいらしてお忙しいと思いますがフリーランスならではの大変さがありますか？

1日休みを作るのが難しいことですね。休みを作るのも自分次第なので(笑)ただ忙しいのが本当にありがたいです。

—在学生、高校生に伝えたいこと

音楽学部に来たからと言って人生の全てが決まるわけではなく4年間をどう過ごすかによって道も無限だから、悩むことも大事だけど動くことも大事にしてほしいです。

桑野恵理子さん

「自ら音楽を楽しむことを忘れない」



演奏表現コースフルート専攻

2015年卒業

—活水を選んだ理由はどのようなものがありましたか？

県外に出たかったということと母が長崎出身だったので、長崎で大学を探している時に活水を見つけたことがきっかけでした。キリスト教音楽に触れられることや様々な場で演奏出来る機会を得られるところは活水の魅力だと思います。

—音楽の道に進むもうと決めたのはどうしてですか？

もともと教えることが好きで教職に憧れていました。そこで自分が教えられるものって何だろうと考えた時に、音楽しか頭にありませんでした。

—卒業して役に立った大学での学びはありますか？

全部です(笑)私は卒業して幼稚園で音楽の先生として6年間働きました。そこ

では、通常行われるリトミックなどの音楽教室に加えて、運動会のBGM決めなども私の仕事でした。大学で学んだ音楽理論やソルフェージュなどはもちろん他コースの活動にも片足突っ込んでやっていったオペラや演奏会のスタッフの経験が活かしました。

―現在はどういうようなことをされていますか？―

今は地元に戻っています。音楽教室を開いてピアノやリトミックを使って音楽を教えたり、オペラの合唱に参加してオペラハウスの立ち上げ等の地域奉仕活動に取り組んでいます。

―音楽教室の立ち上げは大変ですよね…―

今年の6月から始めたばかりなのでまだまだですが、子どもは大人以上に人をよく見ているので、音楽技量だけではなく人間性が大切だなと思います。自分の「音楽が好きだ」という気持ちを忘れずにこれからも続けていきたいです。

―学生のうちにおいた方がよいことは何でしょう？―

コロナ禍でなかなか思うように演奏会ができないと思いますが、学生のうちは失敗しやすいので苦手なことに挑戦してほしいです。長崎は合唱団が多く、音楽が身近にある街だと思うので、地域の方や先生方と協力して大学生活を満喫してほしいです。あとは勉強(笑)

藤井優奈さん

「仕事ができる人より

人として魅力がある人」

―数ある音楽大学の中で活水の音楽学部を選んだ理由は何でしたか？―

高校時代やりたいことがなくて…。でも漠然と音楽で生きたいという思いがあって、音楽の仕事について調べている時に音楽療法を知り、学びたいと思うようになりました。音楽療法が学べる4年制大学を調べていた時に一番近かったのが活水でした。それと、活水に進学した高校時代の先輩の話を聞いて活水に行きたいと思うようになりました。結局全然違う職になりましたが(笑)

―音楽の道に進むにあたって周囲からの反対はありましたか？―

うーん。私自身はあまり経験したことはないですが、就活の時に面接で「4年制大学を出るけどこの業界で親御さんは何も言わない？大丈夫？」と心配されたときに、そんな風に一般社会の人から見られるんだなあと知って。大卒だからいい企業にいける、



音楽文化コース
2020年卒業

いい企業に行くのが成功者だと考える人も多いのかもしれないけど、何が成功なんて関係ないと思います。私はやりたいことをしたいです。

―就職活動中に励みになったことはありますか？―

音楽での就職をあきらめかけていた時ある企業説明会に行ったときに、ある企業の方が話を聞いてくれてコンサートの裏方がしたいことなどを話すと「そんなにやりたいことが決まっている人なんていないよ！」と言われもう一度挑戦してみようと思えた。

―現在はどういうような仕事をされていますか？―

ホールに常駐する音響・照明・舞台のオペレーターとして勤務しています！コロナ禍で増えた配信やネットワーク関係の仕事もしています。

―やはり舞台系のお仕事は専門学校卒の方が多いですか？―

多いですが、大学からはいる人もいます。専門学校卒の人の方が技術面での経験は多いかもしれませんが、入ってから先輩が一から説明してくださるので大変なのは最初だけです。まあ、覚えることはたくさんですが(笑)ただ、知識はすぐに入られても人間性はすぐには身に付けられないので大学4年間の学びは貴重だったと気づきました。

―在学生・高校生へ一言

コロナ禍で思うような経験ができないことはつらいけどコロナだからこそ生まれたもので、できることも多いので様々なことを吸収して小さな経験を積み重ねてほしいです。

活水音楽学部では・・・

- ・ 個々のレベルに応じたレッスン、クラス分けで成長できる！
- ・ 少人数だから先生との距離が近くてなんでも相談できちゃう！
- ・ 音楽教員免許をはじめ、音楽療法士2種などの資格が取得可能！

We are waiting for you !!